珠洲

広報すず
No.704
April 2013

4

コウノトリ 珠洲に降り立ち 春探し

（3月5日、若山町出田で撮影）

珠洲の空を舞うトキ

前日の うわさ聞きつけ トキまでも

（3月6日、熊谷町で撮影）

●今月の特集①
23,009,963,000円の使い道
（2～7ページ）

●今月の特集②
自然と共生する地域に
（34～35ページ）

No.704

広報すず 4月号（毎月1日発行）

〈編集・発行〉 珠洲市役所広報委員会

〈所在地〉〒927・1295 石川県珠洲市上戸町北方1字6番地2
☎0768（82）2222 FAX0768（82）5685
ホームページアドレス http://www.city.suzu.ishikawa.jp/

Photo by Y.Imai

Good days of Suzu

すずびより

心地良い不便さ

温かい陽気に包まれたある日、熊谷町にある工房「ひまつぶし」に遊びに行きました。

工房の主は藁細工の達人、藪下益栄さんです。藁細工以外に藪下さんは、昔自身が見た子供の頃の奥能登の農村風景を、絵日記にして記録しています。

昭和初期の田園風景、子供の頃の遊び、農作業風景など、私の知らない能登の風景や生活を、昭和3年生まれの藪下さんが、当時を思い出しては絵にしています。藪下さんは、描きためた沢山の絵日記を私に見せると、当時の様子を事細かくお話してくれます。

ボタンや、スイッチを入れれば終わってしまう、現代の生活とは違い、一つ一つを手作業で行う生活風景が、それらの絵の中には、沢山広がっていました。不便な生活の中に、目で見て理解が出来る、生活の知恵や工夫があります。不思議とそんな暮らしが、なんだかとても豊かで、調度良い不便さに見えてきて、私は魅了されてしまいました。

珠洲での生活は都会に比べると、圧倒的に不便だと思います。しかしその不便さを、心地良い不便さとして暮らせるような、そんな心の豊かさを築いていけたらと思います。

今井　豊

平成21年東京から移住。23年に「すずたまCF」を設立。地域に根ざしたモノ・コト・ヒトにスポットをあてたデザインツールで、情報発信をしている。
ブログ「http://notonoroshi.blogspot.jp/」

野送り

鰯〆粕絞り

溜池の鮒しき

平成25年度 当初予算

3月5日から18日にかけて
市議会3月定例会が開催され、
その中で平成25年度にはどのようなことにお金を使い、
まちづくりを進めていくのかをまとめた
「当初予算」が決まりました。
全会計を合わせた25年度の予算全体額は、
230億996万3千円。
珠洲市の将来を決める大切なお金です。
ここでその大切な中身について、
重点的に取り組む施策と共に紹介します。

「交流人口の拡大と活性化」
「自然と共生する珠洲市のブランド化」
「安心して暮らせる地域づくり」
この3つに力を入れて取り組みます

一般会計当初予算は108億3千万円

平成25年度珠洲市一般会計当初予算は、対前年度比9・3パーセント増の108億3千万円、特別会計は対前年度比1・5パーセント減の65億1、964万2千円、企業会計は対前年度比5・8パーセント減の56億6、032万1千円で編成し、全会計を合わせた25年度予算全体は、対前年度比2・1パーセント増の230億996万3千円となりました。

投資的経費を大幅に増加

歳入については、地方交付税が人件費削減などの影響を考慮し、前年度比0・8パーセント減の52億1千万円を見込んでいます。また、市税については、たばこ税の税率改正が行われることなどから、全体としては対前年度比3・8パーセント増の15億6、154万6千円を見込んでいます。

歳出については、国が進めるデフレ脱却に向けた経済対策に呼応し、かつこれまで計画してきた大型事業を着工に移すことから、投資的経費を対前年度比42・7パーセント増の19億7、765万5千円としました。

こうした中で25年度は、交流人口の拡大と活性化、「自然と共生する珠洲市」のブランド化、そして防災力の強化など安心して暮らせる地域づくりの3点に重点を置いた事業を行います。

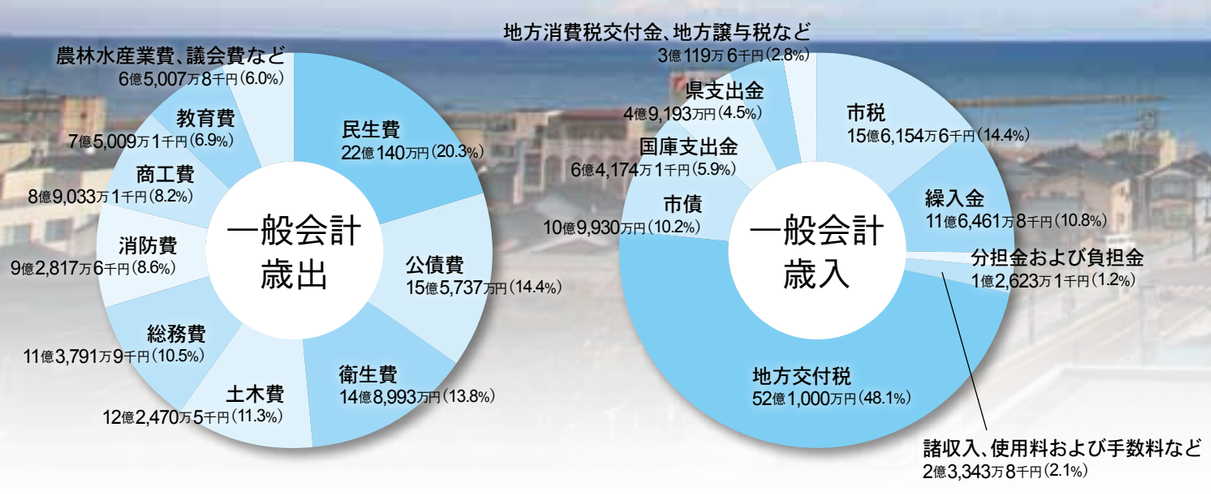
25年度の主な事業

主な事業としては、蛸地区の公共下水道整備事業に併せた街なみ環境整備事業や、木の浦地区における観光交流拠点施設の整備、消防庁舎整備事業を継続します。

また、西部小学校と大谷中学校について、施設一体型の小中一貫教育に向けた基本設計を実施します。

さらには、真浦地区の道整備、市内13カ所に衛星携帯電話の導入、市内小中学校の校内LANの整備なども実施します。

次のページからは、25年度に行う主要事業を、第5次総合計画の7つの基本方針のうち、予算編成に直接関係のある6つの基本方針に沿って紹介します。



珠洲市のゆるキャラ
「みつけたろう」

各会計予算額

一般会計	108億3,000万円
特別会計	65億1,964万2千円
国民健康保険	21億7,736万円
国民宿舎	362万1千円
下水道	12億3,732万2千円
農業集落排水	8,826万4千円
介護保険(保険事業)	27億427万円
介護保険(介護サービス)	1,247万2千円
後期高齢者医療	2億7,896万6千円
賃貸住宅	1,736万7千円
企業会計	56億6,032万1千円
病院	44億7,575万8千円
水道	11億8,456万3千円
合計	230億996万3千円

◎は新規事業、☆は制度拡大事業

①参画・実践　地域の未来を共に考え行動する　市民が主役のまちづくり

大学や奥能登の市町が連携して人材育成に取り組むことで、珠洲市の活性化や若者のI・Uターンによる定着を図ります。

また、地域間交流を支援し、魅力向上とさらなる誘客を図ります。

◎里山里海マイスター等移住定住支援事業　100万円

●能登ワールドチャレンジプロジェクト事業　1、125万円

●活力ある地域づくり支援事業　792万6千円

●新規就農者定着促進事業　750万円

●空き家改修費補助金　150万円

●姉妹都市交流事業　600万9千円

◎見付・恋路海岸周辺活性化事業補助金　150万円

◎鉢ヶ崎周辺施設再編検討事業　300万円

②産業・観光　珠洲の魅力を全国へ発信する　賑わいと活力のまちづくり

観光誘客対策、観光交流の推進のための「おもてなし力向上」の取り組みとして、市内宿泊施設の改修費の助成を引き続き実施します。

また、雇用創出、企業誘致、創業支援、事業拡大支援に積極的に取り組む共に、珠洲ブランドの定着に向けた施策を進めます。

●観光交流拠点施設整備事業　3億8、740万円

◎塩田村物販施設増設事業　2、360万2千円

◎珠洲4号源泉掘削事業　6、100万円

●観光宣伝事業　1、120万5千円

●誘客イベント事業　810万円

●奥能登珠洲の交流支援事業　300万円

●珠洲親子の日交流事業　150万円

●観光施設指定管理委託事業　4、545万9千円

●能登空港利用促進事業　1、546万9千円

◎新幹線開業PR推進ファンド貸付金　1億1、000万円

●宿泊施設魅力アップ事業　600万円

◎寄り道パーキング管理事業　82万5千円

●企業立地促進奨励事業　154万6千円

●地域活性化創業支援事業　500万円

●鵜飼漁港海岸環境整備事業　910万円

●寺家漁港水産基盤整備事業　3、010万円

◎農産物等生産拡大支援事業　105万円

◎珠洲焼館運営事業　711万1千円

●珠洲焼購入助成事業　50万円

◎珠洲市緊急雇用対策事業　1、572万7千円

●若者定住促進支援事業　159万2千円

③健康・福祉　誰もが健康で元気に暮らす　助け合いのまちづくり

子どもたちが健やかに育つ環境づくりや不妊治療費の助成など、少子化に対応した事業を引き続き行います。加えて今年度から、高齢者の移動支援として北陸鉄道グループが発行するシルバー定期の助成を行います。

また、高齢者や障がい者の自立を支援するなど、誰もが健やかに生活できる施策を進めます。

●保育所費　4億5、789万1千円

●放課後児童クラブ運営事業　1、436万5千円

◎鵜飼保育所改修事業　6、861万8千円

◎子ども・子育て支援事業計画策定事業　223万5千円

◎シルバー定期割引事業　200万円

●高齢者安心生活手助け事業　420万5千円

●ふれあい入浴事業　131万1千円

●障がい者自立支援給付　2億2、034万5千円

●医療費給付　4、510万2千円

●日常生活用具給付事業　453万9千円

●地域活動支援センター機能強化事業　336万6千円

●心身障がい者福祉タクシー利用助成　156万円

●医療機器整備費（循環器超音波診断装置）　2、520万円

●予防接種助成　3、532万5千円

☆がん検診事業　1、434万2千円

●不妊治療費助成　110万円

●母子保健推進事業　921万5千円

●小児医療費助成　1、203万1千円

●未熟児養育医療給付　40万1千円

④文化・教育　ふるさとの歴史や文化を学び　創造力を育むまちづくり

魅力ある教育環境づくりを推進するほか、国際化の進む社会に対応するため、幼少期からの英語教育を充実します。

また、貴重な文化財を後世に伝えていくため、文化財保護事業を引き続き行うと共に、ラポルトすずを利用した地域・文化交流を促進します。

◎西部小・大谷中統合整備事業　2、702万7千円

●スクールバス運行管理事業　1、617万8千円

◎校内LAN整備事業　3、456万7千円

●高等学校通学費助成事業　370万円

●学校図書館司書配置事業　915万8千円

●小中学校義務教育教材備品費　1、254万8千円

●小中学校英語指導助手招致事業　1、005万9千円

●ラポルトすず運営事業　3、481万1千円

◎能登塩田再興碑改修事業　254万8千円

●指定有形文化財管理等補助金　223万4千円

●地域伝統芸能等保存事業　58万4千円

◎公民館地域事業委託費　740万8千円

◎は新規事業、☆は制度拡大事業

⑤自然環境

半島の自然を生かし未来へ伝える環境共生型のまちづくり

バイオマスメタン発酵処理施設の運営やバイオマスタウン構想をはじめ、環境に優しい社会の形成を実行します。

このほか、世界農業遺産の維持、保全活動を通じ、「自然と共生する珠洲市」を推進します。

- ●バイオマスメタン発酵処理施設運営事業　9、276万2千円
- ●合併処理浄化槽整備事業　6、447万6千円
- ◎電気自動車導入事業　362万円
- ●ごみRDF化推進事業（奥能登クリーン組合）　4億2、918万円
- ◎バイオマス燃料ストーブ購入費補助　200万円
- ●林業活性化路網整備事業　6、760万円
- ●農地流動化農村環境保全促進事業　200万円
- ●地域生物多様性保全活動推進事業　820万9千円
- ◎里山里海応援基金事業費補助金　300万円
- ◎「珠洲の里山」生き物調査事業　50万円
- ●住宅用太陽光発電システム設置助成事業　450万円

⑥都市基盤

安全・安心な定住を支える快適居住のまちづくり

消防団のポンプ車を順次更新するほか、消防庁舎の建設準備や避難誘導路の整備など東日本大震災を踏まえた「防災力の強化」を図ります。また、高齢者への防災対策、日常生活の支援として、3地区で実施している「ちょっこりたすけ隊事業」を全地区に拡大します。

そのほか、基礎的インフラである道路整備の促進、生活バス路線の運行対策も引き続き行います。

- ●市営バス運行事業　431万5千円
- ●バス路線維持対策事業　2、426万1千円
- ●バス路線再編事業　387万6千円
- ●道整備事業費　1億20万円
- ●消防分団ポンプ車整備事業（大谷分団）　1、866万6千円
- ●消防ポンプ自動車整備事業費負担金　5、049万7千円
- ●避難誘導整備事業　1、170万円
- ●防火水槽新設事業（4カ所）　3、504万円
- ●消防庁舎整備事業　3億8、676万4千円
- ☆ちょっこりたすけ隊事業　784万4千円
- ◎衛星携帯電話導入事業　228万1千円
- ●集会所修繕費補助金　500万円
- ●社会資本整備交付金事業　2億1、850万円
- ●街なみ環境整備事業　1億6、000万円
- ●公共下水道整備事業（蛸島、宝立）　4億6、265万4千円
- ◎統合簡易水道事業（真浦地区）　3、610万円

平成25年度

珠洲太郎さんの家計簿予算

今年度の一般会計当初予算規模は108億3千万円です。とは言っても数字が大きすぎてなかなか実感できないのが正直なところ。

そこで、みなさんに分かりやすいよう「珠洲太郎さんの家計簿」に置き換えてみました。（いろいろな収入や支出があり、一般家庭とは異なりますが、予算額を1,000分の1に置き換えてみました）。

■企画財政課財政係　☎（82）7721

年間収入見込み

収入項目

基本給与（市税）	156万円
親からの仕送り（地方譲与税、地方交付税など）	551万円
諸手当（分担金および負担金）	13万円
パート収入（使用料や手数料）	10万円
特別なことがあったときの親からの限定的な援助（国や県の支出金）	113万円
雑所得（財産収入など）	13万円
預金の取り崩し（繰入金）	117万円
銀行からの借り入れ（市債）	110万円
計	1,083万円

収入（歳入）の特徴

- ●不景気で給与が少なく、親からの仕送りに頼っていることが明らかです。
- ●去年よりも銀行からの借り入れや預金の取り崩しが多いです。
- ●親も生活がかかっているので、今後は親からの仕送りが減っていくことが考えられます。
- ●預金もそんなに多く残っていません。
- ●基本給与や諸手当、パート収入の増に期待したいところです。
- ●今の景気では、収入が減っていくことが予想されるので、支出を抑えていくことが大事だと考えます。

年間支出見込み

支出項目

食費（人件費）	175万円
医療費（扶助費）	69万円
ローン返済（公債費）	156万円
光熱水費など（物件費など）	131万円
家の修繕（投資的経費、維持補修費）	217万円
子どもへの仕送り（特別会計への繰出金など）	332万円
預金（積立金）	3万円
計	1,083万円

支出（歳出）の特徴

- ●去年も家の大規模な修繕工事をしましたが、家が古くなっているので今年も去年よりかかりそうです。
- ●自分が親から仕送りを受けていながら、子どもたちへの仕送りもしないといけません。
- ●来年以降も、医療費やローンの返済は同じくらいかかると思われます。
- ●食費や光熱水費は、ここ数年間切り詰めてきましたが、これからも節約していく努力をしなければなりません。

議会報告

平成25年第1回珠洲市議会3月定例会

議決事項

社会資本整備費など一般会計で5億4、902万円を増額

市長提出の議案38件を可決、議案1件と諮問1件に同意

一般質問で答弁に立つ泉谷市長。

可決された市長提出議案

予算

平成25年度の一般会計や特別会計、企業会計については、2～7ページに掲載したので、ここでは24年度の各会計の補正予算を紹介します。

■一般会計

5億4、902万円を増額し、累計で111億5、760万6千円になりました。主な内容はページ下に掲載。

■国民健康保険特別会計

1、009万8千円を減額し、累計で23億945万4千円になりました。

■下水道事業特別会計

3、219万9千円を減額し、累計で12億3、051万4千円になりました。

■農業集落排水事業特別会計

350万円を減額し、累計で8、545万6千円になりました。

■介護保険特別会計(保険事業)

7、480万6千円を増額し、累計で26億7、270万4千円になりました。

■病院事業会計

1億4、678万7千円を増額し、累計で48億3、625万5千円になりました。

■水道事業会計

5、867万4千円を減額し、累計で12億7、480万2千円になりました。

条例

■珠洲市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

国民健康保険税のうち、支援金分と介護分の資産割を引き下げ、課税限度額を引き上げました。詳しくは19ページに掲載。

■珠洲市新型インフルエンザ等対策本部条例について

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、対策本部に関して必要な事項を定めました。

■珠洲市立公民館設置条例について

平成25年度から、市内10公民館を市の直営施設とするため、必要な規定を整備しました。

■特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

公民館長と珠洲焼資料館長の報酬額について定めました。

■珠洲焼館の設置及び管理に関する条例について

珠洲焼館を市の直営施設として設置し、管理に関して必要な事項を定めました。

■珠洲市陶芸センター設置条例の一部を改正する条例について

施設等利用料の未納者への利用の制限、自立支援工房の利用期間について定めました。

■珠洲家畜診療所設置条例の一部を改正する条例について

家畜診療手数料の一部の見直しを行いました。

■寄り道パーキング施設の設置及び管理に関する条例について

三崎町寺家に寄り道パーキング施設を設置し、管理に必要な事項を定めました。

一般会計補正予算の主なもの

歳出

●増額

社会資本整備総合交付金事業費	1億7,930万3千円
消防庁舎建設準備基金積立金	1億円
道路等維持経費	6,624万3千円
退職手当(一般職分)	6,197万2千円
寺家漁港水産基盤整備事業費	3,030万円

■珠洲市多目的ホールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

ラポルトすずの「キッズルーム」を貸室として活用するため、使用料を設定しました。

■珠洲市公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例について

■珠洲市営住宅条例の一部を改正する条例について

この2件は、地域主権一括法の施行に伴い、所要の改正を行ったものです。

■珠洲市道路占用料条例の一部を改正する条例について

道路法施行令の一部改正により、道路の占用許可対象物件として、太陽光発電設備、風力発電設備および津波からの一時的な避難場所としての機能を持つ堅固な施設が追加されることになり、必要な規定を改正しました。

そのほか

■上山・北山辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

■真浦辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

■折戸辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

この3件は、辺地対策推進のために総合整備計画を策定または変更したものです。

■指定管理者の指定について

(5件)詳しくは11ページに掲載。

■市道の路線変更について

若山町鈴内の市道31号線の終点と延長を変更しました。

同意された市長提出議案

■珠洲市監査委員の選任につき同意を求めることについて

珠洲市監査委員について、大兼政忠男さん(大谷町)を選任することとしました。

同意された市長提出諮問

■人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

6月30日で任期満了となる人権擁護委員について、坪野節子さん(飯田町)、坪井孝暁さん(正院町)、三牧久子さん(三崎町)、橋矢誠一郎さん(狼煙町)、金田多二子さん(馬緤町)が適任であるとしました。

議長選出

上野議長

議長に上野議員を選出

今議会最終日(3月18日)に議長選挙が行われ、上野良夫議員が議長に選ばれました。

就任のごあいさつ

この度、議員各位のご推挙により、第35代市議会議長に就かせていただきました。

誠に身に余る光栄に存じますと共に、その重責を痛感し身の引き締まる思いであります。

もとより、浅学非才の身ではありますが、地方自治の本旨に基づく議会運営にあたりまして常に誠意を尽くし、全身全霊を傾けて取り組んで参る所存です。

過疎化と少子高齢化が進む本市においては、定住人口の拡大・交流人口の拡大に取り組むことこそが、本市が自立し、活性化するための必要な施策にほかならないと考えており、今、世界農業遺産の認定、能登有料道路の無料化、再来年の北陸新幹線金沢開業と、絶好のチャンスが到来していると感じております。

こうしたチャンスを活かし、市民の皆さんが生き生きと暮らせるまちづくりに邁進したいと考えておりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、就任のごあいさつといたします。

珠洲市議会議長　上野良夫

一般質問

「直ちに注意喚起放送で注意を呼び掛けていく」

ＰＭ２・５が高濃度を記録した際の対応について泉谷市長が答弁

３月12日に行われた一般質問では、大兼政忠男、米田幸助、赤坂敏昭、中板秀一郎、北野進、地原友一、濱田隆伸、向山忠秀の８議員が市政全般について質問しました。主な答弁は次のとおりです。

大気汚染への対応は

「ＰＭ２・５」については現在、国や県が設置した観測局において計測を行っており、その計測値は１時間ごとに公開されている。

先般、本市の濃度が通常の６倍を記録したとの報道があったが、これは「ＰＭ２・５」の一種である黒色炭素粒子が、通常１日平均１立方メートルあたり０・３マイクログラムであるのに対し、２月２日には１・８マイクログラムを記録したとのことで、それほど高い濃度ではなかった。ただ、ここ数日は、七尾市で一時45マイクログラムを観測するなど高い数値を記録している。

国では、注意喚起を行うための暫定的な指針値を「１日平均１立方メートルあたり70マイクログラム」と定めているが、県でも現在、注意喚起を行う基準値や連絡方法などについて検討している。

本市では、最寄りの七尾測定局のデータを逐次チェックしており、県から通報を受けた場合には、直ちに防災行政無線やケーブルテレビなどで注意を呼び掛けていく。その際には、不要な外出や激しい運動を控えると共に、マスクの装着やこまめにうがいをするなど、健康管理にご留意いただきますようお願いしたい。

医師不足解消の取り組みは

現在、常勤医師16人に加え、非常勤医師として金沢大学や近隣の病院からの協力を得て当直医や麻酔医を含め約40人の医師が診療に当たっている。

本市では、これまで主に金沢大学医学部や石川県健康福祉部に協力いただき、医師の確保に努めてきた。しかし、自治体病院への医師の供給源であった大学医局の人員不足から、医師確保がもっとも大きな課題となっている。

石川県では、県内の医師不足を解消することを目的とし、平成21年度より地域医療に従事する明確な意思を持った優秀な人材を確保するため、金沢大学医学部において地域枠を設置。毎年10人ほどの学生が医師を目指して就学し、平成27年度から県内の医療機関に従事することとなる。

また、本市では、医師確保のためには待遇改善も欠かせないことから、住環境の整備として平成21年度に４戸、22年度で２戸、さらに23年度では２戸の医師住宅を建設し、現在、医師アパート４部屋のリフォームを進めている。

今後も地元出身の医師確保に努めることはもちろん、石川県や関連大学病院にさらなる協力をお願いすると共に、能登北部医療圏における広域的な連携により、充実を図ることも含め検討していきたいと考えている。

珠洲焼館の今後の利活用は

珠洲焼館については、財団法人鉢ヶ崎リゾート振興協会から施設を譲り受け、本市が直接運営することとし、陶芸センター、珠洲焼資料館、珠洲焼館の３施設を一体的に管理・運営することにより、さらなる珠洲焼の振興と陶工の育成を図りたい。

そのためにも、今後の珠洲焼館の運営については、現在の販売手数料率の引き下げや、若い陶工を対象とした展示・販売コーナーの設置など、さまざまな工夫をしたいと考えている。

木ノ浦周辺の道路・施設整備は

木の浦バス停がある県道から、今後、整備を進める観光交流拠点施設へのアクセス道路は、勾配が14パーセントと非常に険しく、カーブがきつい。特に冬場の通行は安全であるとは言えない状況。

このため、安全なアクセス道路を新たに整備したいと考えているが、当該地域は能登半島国定公園区域であり、また石川県指定の地すべり指定地域となっていることから、道路整備のためには県の認可が必要となる。

さらに、地元地権者の同意や県道との交差点協議なども必要。これらの条件に見合う調査を平成25年度に実施し、検討したいと考えている。

また、椿茶屋のトイレは老朽化しているので、平成25年度に改修を実施したいと考えている。

議員役職

市議会議員役職一覧

◎は委員長、○は副委員長（敬称略）。

■議長　上野良夫
■副議長　三盃三千三

■総務常任委員会
◎向山忠秀、○大兼政忠男、北野進、中板秀一郎、上野良夫
■教育民生常任委員会
◎森井洋光、○寺井秀樹、濱田隆伸、三盃三千三
■産業建設常任委員会
◎新谷栄作、○小泊辰男、米田幸助、地原友一、赤坂敏昭
■議会運営委員会
◎寺井秀樹、○向山忠秀、米田幸助、新谷栄作、森井洋光
■防災対策特別委員会
◎向山忠秀、○大兼政忠男、地原友一、北野進、寺井秀樹、森井洋光
■行政改革特別委員会
◎新谷栄作、○向山忠秀、米田幸助、濱田隆伸、中板秀一郎、赤坂敏昭
■地域振興特別委員会
◎森井洋光、○小泊辰男、濱田隆伸、大兼政忠男、寺井秀樹、赤坂敏昭
■奥能登広域圏事務組合議会
小泊辰男、新谷栄作
■のと鉄道運営助成基金事務組合議会
濱田隆伸
■奥能登クリーン組合議会
大兼政忠男、寺井秀樹、赤坂敏昭、向山忠秀、小泊辰男、新谷栄作
■監査委員　大兼政忠男
■国民健康保険運営協議会
北野進、三盃三千三、中板秀一郎、小泊辰男
■民生委員推薦会
地原友一、中板秀一郎
■都市計画審議会
米田幸助、地原友一、北野進、三盃三千三、小泊辰男
■商工業等振興委員会
濱田隆伸、中板秀一郎
■公害対策審議会
北野進、赤坂敏昭
■環境審議会
地原友一、三盃三千三
■総合病院運営協議会
米田幸助、三盃三千三、大兼政忠男、寺井秀樹、向山忠秀

指定管理

10施設の指定管理者が決定しました

10の公の施設について、平成25年度以降の各施設の指定管理者が次のとおり決まりました。

●寄り道パーキング寺家
寺家里山里海実行委員会（三崎町）
●狼煙地区農山漁村活性化施設
（株）のろし（狼煙町）
●珠洲市自然休養村センター
自然休養村センター管理会（馬緤町）
●国民宿舎能登路荘・見付レストハウス・見付更衣施設
（株）のとじ荘（宝立町）
●鉢ヶ崎ケビン・鉢ヶ崎メインバースハウス・鉢ヶ崎オートキャンプ場・珠洲鉢ヶ崎健康運動広場
（財）鉢ヶ崎リゾート振興協会（蛸島町）

指定管理者が決まった「寄り道パーキング寺家」。４月末のオープンに向けて工事が進められています。

市営バス「すずらん」のルート・バス停を変更

「すずらんちゃん」
まちなか循環バス「すずらん」
イメージキャラクター

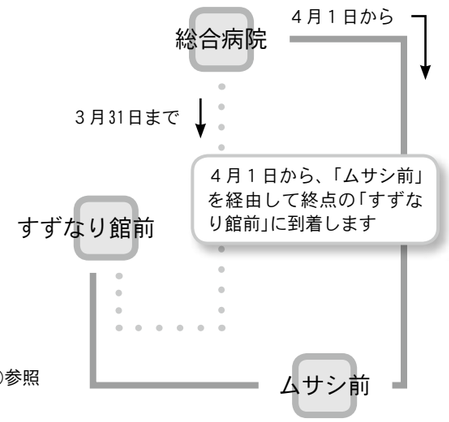
①「すずらん」時刻表

「南町」が「大貫眼科前」にバス停名が変わりました

バス停						
すずなり館前	8:30	9:30	10:30	11:30	13:00	14:00
総合病院	8:31	9:31	10:31	11:31	13:01	14:01
ムサシ前	8:32	9:32	10:32	11:32	13:02	14:02
吾妻町	8:35	9:35	10:35	11:35	13:05	14:05
みちしたクリニック前	8:36	9:36	10:36	11:36	13:06	14:06
飯田港	8:37	9:37	10:37	11:37	13:07	14:07
能登飯田	8:38	9:38	10:38	11:38	13:08	14:08
あいあいパーク	8:39	9:39	10:39	11:39	13:09	14:09
あいずみクリニック	8:42	9:42	10:42	11:42	13:12	14:12
わくわく広場	8:43	9:43	10:43	11:43	13:13	14:13
大貫眼科前	8:44	9:44	10:44	11:44	13:14	14:14
中谷医院前	8:45	9:45	10:45	11:45	13:15	14:15
市役所前	8:46	9:46	10:46	11:46	13:16	14:16
わくわく広場	8:47	9:47	10:47	11:47	13:17	14:17
能登飯田	8:48	9:48	10:48	11:48	13:18	14:18
あいあいパーク	8:49	9:49	10:49	11:49	13:19	14:19
サンユー前	8:51	9:51	10:51	11:51	13:21	14:21
健康増進センター前	8:54	9:54	10:54	11:54	13:24	14:24
総合病院	8:56	9:56	10:56	11:56	13:26	14:26
ムサシ前	8:57	9:57	10:57	11:57	13:27	14:27
すずなり館前	8:58	9:58	10:58	11:58	13:28	14:28

②参照

②「すずらん」新ルート



③「すずらん」料金（1回の乗車につき一律）

■大人 100円　■小学生 50円　■障がい者 50円　■障がい児 30円
※幼児は大人同伴の場合1人まで無料、2人目から50円。
※「障がい者」とは身体障害者手帳、療育手帳または精神保健福祉手帳を持つ中学生以上の人。小学生以下の人は「障がい児」とします。

■企画財政課企画係　☎(82)7721

高校生のバス通学費を補助

市では、次の要件を満たす人を対象に、路線バス定期で1カ月1万円を超える額を補助します。

■**補助要件**
●通学費負担者および生徒が珠洲市内に居住し、住民基本台帳に記載されている
●通学費負担者が市税等を滞納していない
●通学費負担者が、通学費相当分について生活保護法に規定する生活扶助を受給していない

■**申請方法**　通学費補助資格申請書（在学証明書添付）と補助金申請書兼請求書（定期のコピー添付）を左記へ提出
　申請書などは飯田高校・能登高校に備えてありますが、詳細については左記まで問い合わせください。

■**教育委員会事務局学校教育係**
☎(82)7816

宇出津珠洲線のバスダイヤ改正

4月1日から、次の路線でダイヤ改正を行います。ご注意ください。

■**宇出津珠洲B線（一部のダイヤを調整）**
能登高校発「17時59分」←「18時5分」

■**宇出津珠洲C線（始発バス停の変更）**
「上町発」←「柳田発」

※快速「上町発7時28分発」が「柳田発7時21分」となります。

■**北鉄奥能登バス（株）**
☎0768(22)2311

新制度　70歳以上のバス利用を支援

北鉄奥能登バス発行の「シルバー定期」。4月1日から市では、この定期を半額で購入できる助成制度を開始します。提示すると、北陸鉄道が運行する路線バス（市内の路線バスを含む）に無料で乗車できます。

■**助成対象者**　市内に住所を有する70歳以上の人

■**助成額**
●1カ月定期　3,500円（通常7千円）
●2カ月定期　7千円（通常1万4千円）
●3カ月定期　1万円（通常2万円）

■**購入に必要な物**　印鑑（スタンプ式不可）、健康保険証など年齢を確認できる身分証明書

■**販売場所**　北鉄奥能登バス飯田営業所（すずなり館横）
　飯田営業所での購入のみ助成対象。代筆でも手続きできますが、本人同伴で飯田営業所までお越しください。

■**企画財政課企画係**
☎(82)7721

天坂シャトル運行実験期間を延長

現在運行している天坂シャトル（予約制）は、柳田天坂バス停で大谷特急（大谷～金沢）のダイヤと接続します。大谷特急に乗り継ぐことで、金沢駅に9時13分に着くことができます。

■**運行期間**　7月31日（水）まで

■**運行方法**　予約制（前日の12時までに予約が必要）

予約先
■**（有）めだか交通**
☎(76)0069

問い合わせ
■**企画財政課企画係**
☎(82)7721

バス停名	時刻	運賃	そのほか
珠洲鉢ヶ崎	6:00	900円（天坂まで）	乗車のみ可
弁天公園前	6:02		
正院	6:05		
すずなり館前	6:09	800円（天坂まで）	
珠洲市役所前	6:12		
上戸	6:14		
珠洲鵜飼	6:17	600円（天坂まで）	
鵜島	6:19		
柳田天坂	6:36		大谷特急 6:52発に接続
金沢駅	9:13	2,310円（天坂～金沢駅間）	

年に一度は東京へ！
能登空港を応援しよう！

能登空港の応援団「ウイング・ネットワーク」

能登に暮らす多くの人の熱意と支援で開港した能登空港。その思いを次代へ引き継ぐ組織として誕生したのが「能登空港ウイング・ネットワーク」です。利用促進同盟会では、平成25年度会員を募集します。

■**年会費**　個人1、000円、法人1万円

■**有効期限**　平成25年4月1日～26年3月31日

■**入会手続き**　入会申込書兼振込用紙に必要事項を記入し、年会費を最寄りの指定金融機関や郵便局から振り込んでください

※申込書は、すず市民交流センター1階観光交流課やラポルトすず、珠洲商工会議所会館に備えています。

■**会員特典**

●会員5人以上で能登空港定期便を往復搭乗すると、1人あたり3千円を助成

●会報誌「能登空港だより」で空港関連の情報をお知らせ

●能登空港ターミナルビル内レストランでコーヒー100円引き

●能登空港ターミナルビル1階・2階の売店で500円以上の買い物を3回すると、もれなく粗品プレゼント

●会員特別企画旅行の先行案内

仕事での利用が多い場合法人会員がお得！

会社・団体で法人会員費1万円を支払うと、ウイング・ネットワークの会員証が10枚もらえます。法人の中で5人以上の出張、研修、旅行の際に使用すると、市の団体助成金と能登空港利用促進同盟会の助成金がその都度支給されます。

このような形で何度か能登空港を利用する機会がある法人は、個人で入会するよりも大変お得です。

さらに、能登空港ウイング・ネットワーク法人会員になると、「能登空港ターミナルビル2階出発ロビーの認定ボードに団体名・企業名が掲示される」「能登空港ホームページおよびウイング・ネットワーク会報誌に掲載される」などの特典もあります。

ウイング・ネットワークや、同盟会助成金に関することについて詳しくは左記まで。

■**能登空港利用促進同盟会**
☎0768(26)2366

助成制度

1 能登空港利用促進同盟会の利用促進助成

能登空港首都圏研修等助成金

●**助成金額**　1人あたり3,000円

●**対象**　能登空港定期便を往復搭乗する10人以上(ウイング・ネットワーク会員は5人以上)のグループ・団体で、研修や視察旅行などを実施する場合

ハッピーバースデイ能登羽田便利用旅行助成金

●**助成金額**　1人あたり3,000円

●**対象**　60歳以上の人が誕生月に出発で能登空港往復の旅行をする場合

●**申請期間**　利用最終日から1カ月以内

※両方に該当する場合、1往復につきどちらか1つの助成を選択します。
※対象は、宝達志水町以北の住民および能登空港ウイング・ネットワーク会員です。

2 珠洲市の利用促進助成
(市民課で市内共通商品券を交付)

利用人数	分類	片道利用	往復利用
2人以下	大人	なし	商品券2,000円分
	子ども	なし	商品券1,000円分
3人以上(団体)	大人	商品券2,000円分	商品券4,000円分
	子ども	商品券1,000円分	商品券2,000円分

※大人は12歳以上の人。
※子どもは3歳以上12歳未満の人。
※3人以上(団体)の助成の場合、市外の人を含めて団体扱いをすることができます。ただし、同じ旅程の団体であることを証明する書類が必要。さらに、市外の人は市の助成対象となりません。ご注意ください。

●**対象**　搭乗日に珠洲市の住民票を有する人

●**申請期間**　利用最終日から30日以内

●**申請場所**　市役所1階市民課

必要書類は利用の形態や申請の仕方によって異なります。このほか、市内の学校が修学旅行で利用する場合の助成制度もあります。詳しくは下記まで。

■**観光交流課交流促進係**　☎(82)7776

お知らせ

4月のイベント

▼7日(日)14時30分～
おらが故郷お国自慢
「西湊鬼楽太鼓ミニコンサート」

▼14日(日)
10時～12時、13時～15時
のっぴーグラスづくり
「4月はお花見のっぴー」

▼28日(日)15時20分～
おらが故郷お国自慢
「寛久美会新舞踊」

フリーマーケット出店者を募集

●**日時**　5月3日(金)～5日(日)
連日10時～15時

●**出店区画**　1区画(1.8メートル×2.7メートル)

●**応募締切**　4月19日(金)必着

出店希望日・名前・住所・電話番号・販売品目を記入し、ファックス、はがきで下記まで申し込みください。詳しくは問い合わせください。

■〒929・2392　輪島市三井町洲衛10・11・1　能登空港賑わい創出実行委員会
☎0768(26)2303
FAX0768(26)2305

人事異動

4月1日付で人事異動が発令されました。ここで紹介するのは課長級、課長補佐級、係長級および保育所長の計52件です。

課長級（8件）

●企画財政課長（兼）まちづくり相談室長（兼）自然共生室長　金田直之
●市民課長　池田進
●生活環境課長　橋本良助
●福祉課長（兼）健康増進センター所長（兼）地域包括支援センター所長　西祐子
●産業振興課長（兼）雇用相談室長（兼）花き栽培センター所長（兼）農業委員会事務局長　鍛治鉄雄
●会計管理者（兼）出納室長　松田秀次
●議会事務局長　天満信一
●農業委員会事務局参事（兼）次長　谷内一夫

課長補佐級（14件）

●企画財政課長補佐（兼）行財政改革推進室員（兼）まちづくり相談室員　岸田和久
●自然共生室次長（兼）自然共生係長（兼）まちづくり相談室員　才式嘉明
●市民課長補佐　西内恵美子
●税務課長補佐（兼）課税係長　濱田裕子
●生活環境課長補佐（工務担当）　岩坂隆
●建設課長補佐　前田保夫
●観光交流課長補佐　大庭眞優美
●総合病院事務局次長（兼）地域医療対策室員　石井和公
●総合病院事務局次長（医事担当）（兼）医事係長（兼）地域医療対策室員　坂口由美
●教育委員会事務局次長　山下浩子
●出納室次長（兼）出納係長　濱野孝子
●市民課主幹（兼）医療保険・年金係長　高田吉明
●産業振興課主幹（兼）商工・労政・企業誘致係長　高林義信
●教育委員会事務局主幹（兼）スポーツ振興係長　山博行

係長級（23件）

●総務課付（奥能登広域圏事務組合派遣）　岸田利彦
●危機管理室危機管理係長　天満一裕
●企画財政課財政係長（兼）行財政改革推進室員　森田雄弘
●市民課市民サービス係長　道下恵美子
●税務課収納係長　徳田充則
●生活環境課管理係長　川端章稔
●福祉課生活支援係長　天満祐子
●産業振興課農業振興係長　西谷内俊宏
●産業振興課水産林業振興係長　辻口正志
●観光交流課観光推進係長　高橋武夫
●教育委員会事務局学校教育係長　川角正幸
●総務課行政管理専門員　浅谷香織
●市民課医療保険・年金専門員　徳田英之
●税務課課税専門員　山岸正滋
●税務課課税専門員　太佐充
●生活環境課環境専門員　平野文雄
●福祉課生活支援専門員（兼）査察指導員　池端宏志
●福祉課高齢者支援専門員　前野小百合
●建設課管理専門員　川邊和代
●観光交流課観光推進専門員　川角優子
●総合病院事務局医事専門員　道下満
●総合病院事務局施設・用度専門員　久徳千鶴子
●教育委員会事務局文化財専門員　森淑子

保育所長（7件）

●上戸保育所長　表幸民子
●飯田保育所長　中新地ひろ子
●正院保育所長　直川節子
●蛸島保育所長　吉木久美子
●小泊保育所長　表野雅美
●粟津保育所長　宮前信子
●大谷保育所長　新仁美

蛸島町

宝立町

下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

下水道

接続可能区域が拡大しました

新たに供用開始となった区域

すでに供用開始となっている区域

宝立町と蛸島町で新たに供用開始

平成24年度の下水道整備工事が完了し、新たに宝立町・蛸島町の一部で下水道が使えるようになりました。

接続可能となったみなさんは、一日も早く台所やお風呂、トイレなどの生活排水を下水道へ接続する排水設備工事を行っていただきますようお願いします。

排水設備工事は指定業者へ！

市では、みなさんが排水設備工事を安心して行っていただけるよう、排水設備業者を指定しています。「珠洲市下水道排水設備工事指定業者」は、市に提出する書類の作成や届け出などの手続きを代行しています。

助成金制度を活用して下水道に接続しよう！

市では、平成23年4月1日から「水環境向上促進助成金制度」を設け、供用開始となった区域での下水道接続工事に対して、工事費用の一部を助成しています。これら助成金申し込みの手続きも、「珠洲市下水道排水設備工事指定業者」が代行します。

■**助成対象者**

●供用開始から3年以内に公共下水道へ接続した人
●市税、水道料金、受益者負担金を滞納していない人

■**助成額**　工事費の20パーセントで上限額10万円
※1万円未満切り捨て。

経過措置として、平成23年4月1日から26年3月31日までの3年間は、供用開始後3年を経過した公共下水道区域の人、農業集落排水区域の人も助成の対象となります。

台所やお風呂などの生活排水を汚れたままの状態で海や川に流すことのないよう、下水道への接続にご協力をお願いします。

下水道のことで分からないことは、左記まで問い合わせください。

■生活環境課下水道係
☎（82）7786

特別養護老人ホーム「第三長寿園」が完成

介護保険事業計画で建設を進めていた地域密着型介護老人福祉施設とショートステイ併設の「第三長寿園」が３月27日に竣工式を迎え、４月１日から事業を開始します。

■**住所**　宝立町鵜飼子字36番地４
■**施設名称**　特別養護老人ホーム第三長寿園
■**提供サービス（定員）**　地域密着型介護老人福祉施設（20人）、ショートステイ（20人）
■**福祉課高齢者支援係**　☎（８２）７７４９

ゆーりんピック2013 美術工芸展開催

自慢の作品を出展してみませんか

高齢者の健康増進と生きがいづくりを目的に、「ゆーりんピック2013美術工芸展」が開催されます。みなさんの自慢の作品を募集中！

■**展示期間**　５月17日（金）～19日（日）
期間中の毎日10時～20時
■**展示場所**　石川県庁19階展望ロビー
■**応募資格**　60歳以上（昭和29年４月１日以前に生まれた人）でアマチュアの人
■**募集作品**　日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真
■**申込締切**　４月12日（金）
ご注意　１人１作品の出品とします。募集作品には、それぞれ規格が定められています。詳細は問い合わせください。
出品を希望する人は、下記まで申し込みください。
■**福祉課高齢者支援係**　☎（８２）７７４９

国民健康保険税が変わります

国民健康保険は、医療機関で受診した際の医療費を支払うため、国保加入者自身が国民健康保険税を負担して成り立っている相互扶助の制度です。
平成25年度から市民のみなさんにご負担いただく国民健康保険税のうち、支援金分と介護分の資産割を引き下げる一方、課税限度額を引き上げる改定をします。
変更点は右の２点。カッコ内が24年度比の増減です。詳しくは下記まで問い合わせください。
■**市民課医療保険・年金係**　☎（８２）７７４１
■**税務課課税係**　☎（８２）７７３５

■税率は引き下げ

医療分	所得割	6.0％
	資産割	25％
	均等割	21,000円
	平等割	26,000円
支援金分	所得割	1.2％
	★資産割	5％（↓2％）
	均等割	7,000円
	平等割	3,600円
介護分	所得割	1.2％
	★資産割	0％（↓10％）
	均等割	7,200円
	平等割	5,400円

■課税限度額を引き上げ

★医療分　50万円（↑３万円）
★支援金分　13万円（↑１万円）
★介護分　10万円（↑１万円）

高齢者福祉 5つのサービス

市では、高齢者福祉の充実を図るため、次のサービスを提供しています。「◎ふれあい入浴」以外のサービスは、市役所１階福祉課の窓口で受け付けます。詳しくは下記まで。
■**福祉課高齢者支援係**　☎（８２）７７４９

配食サービスで安否も確認

栄養バランスのとれた食事を昼食時間に提供すると共に、定期的な訪問で利用者の安否確認も行います。
■**対象者**　65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯で、買い物や調理が困難な人
■**自己負担額**　１食550円（汁物付き600円）

◎お風呂でさっぱりふれあい入浴

市内にある宝湯・海浜あみだ湯・恵比寿湯を低料金で利用できます。年齢が確認できるものを持ち、各浴場に直接申し込みください。
■**対象者**　65歳以上の人
■**自己負担額**　１回100円
■**利用回数**　年間６回まで

緊急時の通報用機器を貸与

緊急時にボタンを押すとサポートセンターに電話がつながります。そこから協力員や消防署に連絡が入り、駆け付ける仕組みです。詳しくは広報すず２月号をご覧ください。
■**対象者**　65歳以上のひとり暮らしで、病気などで健康に不安がある人
■**自己負担額**　月額500円

出張理髪サービスですっきり

理髪サービス利用券を交付します。
■**対象者**　自宅で３カ月以上寝たきりの人
■**自己負担額**　１回500円
■**利用回数**　年間２回まで

紙おむつ・尿取りパット引換券の交付

■**対象者**　市民税非課税世帯で、要介護４または５と認定されている人を自宅で介護している人
■**助成額**　月額6,250円相当分（申請月から年度末分まで交付）

グループでの健康づくりを応援します！

健康仲間づくり活動

公民館などで「健康づくり」をテーマに活動を行うグループに講師謝礼などの活動費を助成します。
■**対象**　平成25年５月から26年１月までの期間中、健康づくりの活動を10回以上実施する60歳以上の市民によるグループ（10人以上）

健康仲間づくり活動　～ノルディックウォーキング編～

ポールを使った歩行「ノルディックウォーキング」を楽しく学ぶグループに講師謝礼などの活動費を助成します。
■**対象**　平成25年５月から26年１月までの期間中、ノルディックウォーキングの活動を４回以上実施する60歳以上の市民によるグループ（10人以上）

ご注意　ほかの活動助成を受けているグループ、活動内容が営利目的の場合や宗教活動の場合は対象外です。
■**申込締切**　４月18日（木）
市役所１階福祉課に備えてある所定の用紙に活動内容などを記入して申し込みください。応募多数の場合、希望に添えないことがあります。
■**福祉課地域包括支援センター**　☎（８２）７７４６

定期予防接種

定期予防接種は、「予防接種の中で特に重要」と予防接種法で定められ、接種するよう努めなければならないもの。対象期間に無料で接種できます。ここでは、生まれて間もない赤ちゃんから20歳未満の人を対象に、4月中に制度が変わる予定のものを中心に掲載。大切なお子さんや家族を病気から守るため、接種スケジュールを確認して必ず接種いただくようお願いします。

日本脳炎

特例に平成7年4月2日～5月生まれを追加

日本脳炎の予防接種後に重い病気になった事例。これを機に、国は平成17年度から21年度まで接種勧奨を控えていましたが、現在は、接種を勧めています。

平成7年4月2日から19年4月1日生まれの人は、20歳になる前々日まで、定期予防接種として接種できます。母子健康手帳で不足分を確認してください。

特例対象者（平成7年4月2日～19年4月1日生まれ）
接種スケジュール（1期3回と2期1回の全4回）

未接種の人	1期初回　6～28日の間隔を空けて2回
	1期追加　初回後、おおむね1年後に1回
	2期　9歳以上（1期後6日以上経過後＝以下①・国は5年の間隔を空けての接種が望ましいとしている）
1期1回接種した人	1期　6日以上の間隔を空けて残り2回
	2期　9歳以上（①）
1期2回接種した人	1期　6日以上の間隔を空けて残り1回
	2期　9歳以上（①）
1期を終えた人	2期　9歳以上（①）

新たに

ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんが定期予防接種に

ヒブワクチン

対象　2カ月以上5歳に至るまでのお子さん

接種スケジュール

●2カ月以上7カ月に至るまでに初回接種（全4回）
【2～3回目】27～56日の間隔を空けて2回接種
【追加】3回目接種後7～13カ月の間に接種

●7カ月以上1歳に至るまでに初回接種（全3回）
【2回目】27～56日の間隔を空けて接種
【追加】2回目接種後7～13カ月の間に接種

●1歳以上で未接種（5歳に至るまでに1回接種）

小児用肺炎球菌ワクチン

対象　2カ月以上5歳に至るまでのお子さん

接種スケジュール

▼2カ月以上7カ月に至るまでに初回接種（全4回）
【2～3回目】27日以上の間隔を空けて2回接種（1歳までに完了）
【追加】3回目接種後60日以上の間隔を空けて接種
▼7カ月以上1歳に至るまでに初回接種（全3回）
【2回目】27日以上の間隔を空けて接種（1歳までに完了）
【追加】2回目接種後60日以上の間隔を空けて接種
▼1歳以上2歳に至るまでに初回接種（全2回）60日以上の間隔を空けて接種
▼2歳以上で未接種（5歳に至るまでに1回接種）

子宮頸がん予防ワクチン

対象　中学1年生から高校1年生に相当する年齢の人

接種スケジュール

●サーバリックス（全3回）
【2回目】
初回接種から1カ月後
【3回目】
初回接種から6カ月後

●ガータシル（全3回）
【2回目】
初回接種から2カ月後
【3回目】
初回接種から6カ月後

ワクチンは2種類あります。初回接種後にワクチンの種類を変更することはできません。医療機関で相談して接種してください。

全種

「特別の事情」で未接種の人へ特例を設定

「長期間にわたる重い病気の治療」など、**【特別の事情】**で定期予防接種を受けることができなかった人は、2年以内であれば、接種できる場合があります（年齢制限があるものもあります）。

「特別の事情」には、次のような病気、臓器移植後の治療などが該当します。

●重症複合免疫不全症、無ガンマグロブリン血症そのほか免疫の機能に支障を生じさせる重い病気
●白血病、再生不良性貧血、重症筋無力症、若年性関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、潰瘍性大腸炎、ネフローゼ症候群そのほか免疫の機能を抑制する治療を必要とする重い病気
●臓器移植後に受ける免疫の機能を抑制する治療

このほか、ここに挙げたものに準ずると認められた場合も「特別の事情」に該当します。

認定条件が複雑なため、一度健康増進センターへ相談してください。

BCG

「1歳に至るまで」に拡大、個別接種のみに

BCG定期予防接種の対象年齢が、「生後6カ月に至るまでの間」から「生後1歳に至るまでの間」に変わりました。これまでは3～4カ月児健診での集団接種も可能でしたが、医療機関での個別接種のみとなります。

■**接種回数**　1回

国が定める標準的な接種期間は、生後5カ月から8カ月までです。この期間を目安に接種するようにしてください。

総合病院小児科を利用する場合（14時30分～15時受付）、月曜日の接種は前の週の水曜日まで、金曜日の接種は火曜日までに予約が必要です。

20～21ページの表記について
※「至る」は「前日」、「未満」は「前々日」の意味。例えば、「5歳に至るまで」は「5歳の誕生日の前日まで」を意味します。
※「定期予防接種」には、下の一覧全てが該当します。

定期予防接種一覧（市指定医療機関）

医療機関		BCG	4種混合	3種混合	2種混合	ポリオ	麻・風	日本脳炎	ヒブ	小児肺炎	子宮
珠洲市総合病院 ☎(82)1181	小児科(月・金)	○	○	○		○			○	○	
	小児科(水)				○		○	○			
	産婦人科(金)										○
井端内科医院 ☎(84)2535			○	○	○	○	○	○	○	○	○
なかたに医院 ☎(82)8333			○	○	○	○	○	○	○	○	○
みちした内科クリニック ☎(82)0877			○	○	○	○	○	○	○	○	○
小西医院 ☎(82)6800			○	○	○	○	○	○	○	○	○
まるおかクリニック(穴水町) ☎0768(52)8228		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■**持ち物**　母子健康手帳、予診票

接種間隔を過ぎると、発熱などの医学的要因で接種できなかった場合を除き、対象外の任意接種となります。市のホームページで確認、または下記まで問い合わせください。

4種混合＝ジフテリア・百日ぜき・破傷風・ポリオ
3種混合＝ジフテリア・百日ぜき・破傷風　2種混合＝ジフテリア・破傷風
麻・風＝麻しん風しん混合　小児肺炎＝小児用肺炎球菌　子宮＝子宮頸がん
◆総合病院　小児科14時30分～15時受付　産婦人科15時～16時

問い合わせ　■健康増進センター　☎(82)7742

おじいちゃんおばあちゃんの予防接種

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用を助成します

肺炎は、年を取ると共に重症化しやすく、その死亡者の多くが高齢者となっています。

原因となるのは主に肺炎球菌です。肺炎球菌ワクチンを接種することで、肺炎球菌感染症の約80パーセントを予防できるといわれています。

接種後3～4週間で抗体ができ、5年以上免疫が続くといわれています。副反応として注射部位の腫れや痛み、発赤などの症状が出ることがあります。また、発熱や筋肉痛などの症状が出ることがありますが、軽度で2～3日で症状がなくなります。

肺炎球菌ワクチンは「任意接種」です。接種の効果や副反応について、十分考えた上で接種してください。

■**対象**　珠洲市内に住む満65歳以上の人（過去に接種したことのある人は、前回接種日から5年経過していること）

■**助成回数**　1回

■**接種費用**（個人負担額）　3、800円（生活保護受給者は無料）

申し込みから接種まで

①接種希望日の10日前までに、左記へ申し込み

←

②接種券を受け取り、市指定医療機関（下記）に予約

←

③医療機関で接種

下記医療機関以外での接種は助成対象となりません。ご注意ください。

■**健康増進センター**　☎（82）7742

市指定医療機関

■珠洲市総合病院内科　☎（82）1181
■井端内科医院　☎（84）2535
■なかたに医院　☎（82）8333
■あいずみクリニック　☎（82）0002
■みちした内科クリニック　☎（82）0877
■田中クリニック　☎（82）0500
■小西医院　☎（82）6800

対象：犬（生後91日～）

生後91日以上の犬には、登録と年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。市では、右の日程で予防注射を実施。同時に登録や届け出も受け付けます。なお、犬の所在地が市外に変わる場合は、新たな所在地で「転入届」を提出してください。

4月4日（木）	
鵜島生活改善センター	9:30～ 9:40
柏原林業研修センター	9:50～10:05
上戸公民館	10:15～10:40
若山公民館	10:50～11:20
直公民館	11:30～11:50
正院公民館	13:00～13:30
蛸島公民館	13:40～14:10

4月5日（金）	
小泊集会所	9:30～ 9:50
三崎公民館	10:00～10:20
須須神社大鳥居前	10:30～10:40
狼煙生活改善センター	10:55～11:00
日置いきいき館	11:10～11:20
高屋集会所	11:30～11:40
自然休養村センター	11:50～12:00
大谷公民館	13:15～13:35
上黒丸生活改善センター	13:50～14:00

4月7日（日）	
旧珠洲保健所前（能登北部保健福祉センター珠洲地域センター）	9:30～10:30
珠洲市役所前	11:00～12:00

6月2日（日）	
珠洲市役所前	10:00～11:00

義務付けられている【犬】の届け出

●新しく飼うとき　【登録申請】
●「所在地」「所有者」「所有者の氏名・住所」が1つ以上変わったとき　【変更届】
●死亡したとき　【死亡届】

犬の予防注射

登録もお忘れなく！狂犬病予防注射を実施

問い合わせ　■生活環境課環境係　☎（82）7743

カメラニュース CAMERA NEWS

2/22 スポーツや文化で活躍 15人・7団体を表彰

受賞したみなさん。

第25回珠洲市スポーツ賞・第14回少年文化賞の表彰式が産業センターで行われ、平成24年に活躍した15人・7団体を表彰しました。受賞者は次のみなさんです（敬称略・順不同・所属などは表彰当日のもの）。

スポーツ賞　個人　●グラウンド・ゴルフ　浦白知紀（市グラウンド・ゴルフ協会）　●ウエイトリフティング　岡田英典（七尾特別支援学校珠洲分校）　●陸上　田端大祐（緑丘中）

スポーツ奨励賞　個人　●陸上　岡田雅宏・浅田久美（市陸上協会）、山崎礼華（飯田高）、倉見滉・高野智美（緑丘中）　●ソフトテニス　新幸恭（能登高）　●ウエイトリフティング　北崎真友・下飼さとみ（飯田高）　**団体**　珠洲市チーム（市バスケットボール協会）、珠洲市チーム（市野球協会）、飯田高女子ウエイトリフティング部、飯田高女子ソフトテニス部、緑丘中相撲部

少年文化賞　個人　●美術　竹原真美（飯田高）　●ポスター　向渚紗（緑丘中）　●作文　白坂海翔（緑丘中）　●文化活動　行田瑞生（正院小）　**団体**　飯田高芸術部、緑丘中珠算チーム

江差 ⑭⓪ 津軽・下北・男鹿3半島と交流 半島間連携チャレンジプロジェクト

このプロジェクトは、渡島・津軽・下北・男鹿の4半島で活動する団体が交流することで、お互いの地域が活性化・発展していくことを目的とする「国土交通省半島振興室の事業」。3月2日、津軽・下北・男鹿半島のみなさんが来町し、交流を深めました。

JR江差駅で大漁旗を掲げ、3半島の参加者を歓迎。江差町に到着した参加者は、江差町保健センターで江差の料理を食べながら、江差町の人々との交流会を楽しみ、翌日は今後の半島間交流のあり方について意見を交換しました。

【右写真】江差駅での出迎えの様子。

カメラニュース CAMERA NEWS

感謝状を受け取る中道さん。

3/21 市民の健康づくりに貢献 6人に感謝状

平成24年度地域保健推進員活動功労者表彰式が健康増進センターで行われ、健康づくり活動に貢献した6人に泉谷市長から感謝状が贈られました。表彰されたのは次のみなさんです(敬称略)。

●食生活改善推進員　天満淳子(上戸町)、二飯田紀子・兼政武子(若山町)、中道織江・澤谷多津子(三崎町)　●老人保健ビジター　山口絹子(若山町)

3/3 意見交換会「しゃべり場すず」 若者が市長と共に考える

産業センターで「しゃべり場すず」が開催され、U・Iターン者6人が珠洲市の現状や将来について泉谷市長と意見を交わしました。市長が市の現状と取り組みを7項目に分けて説明した後、「珠洲は若者が少ない分、みなさん一人ひとりの存在価値が大きい。波及効果が大きくやりがいもあるので、ぜひ頑張ってほしい」と激励。参加者からは、「起業のチャレンジスペースを提供してほしい」「総合病院の診療時間延長を」などさまざまな意見が出ていました。

珠洲市の将来について意見を交わしました。

市では、U・Iターン者と新規学卒者を対象とした支援事業を実施しています。これまでは市内転入後に就業した人のみ対象としていましたが、4月からは就業後に市内に転入した人も対象となります。

事業内容

●市長との意見交換会「しゃべり場すず」の開催
●商品券の交付(3万円相当)

対象

珠洲市、輪島市、穴水町または能登町の奥能登4市町で就業(自営業を含む)したU・Iターン者(転入時満40歳以下)および新規学卒者で、商品券交付申請時に珠洲市民であること

そのほかにも条件があります。詳しくは下記まで問い合わせください。

■産業振興課商工・労政・企業誘致係
☎(82)7775

3/3

珠洲商工会議所会館で「地域連携保全活動計画を考えるシンポジウム」が開かれ、生物多様性の動向や市の取り組み、森林保全策、イノシシなどの獣害・水辺の生物保全の現状が報告されました。

寿

めでたく百歳を迎えられたおふたりを泉谷市長が訪ね、長寿を祝いました。金谷さん、高橋さんいつまでもお元気で。

金谷恵秀さん

大正2年3月16日生まれ
正院町

長生きには、「歩くことが大事」と話す金谷さん。バスと徒歩で、図書館に通うことが日課になっています。趣味の読書を一日中楽しむこともあり、食事も一人前以上食べる元気いっぱいのご長寿さんです。

高橋大吉さん

大正2年3月21日生まれ
宝立町

三度の食事をしっかり取り、毎日新聞を読む高橋さんは、人と話をすることが大好きなご長寿さん。長生きの秘けつは「くよくよしないこと」。電話で親族と会話をすることも楽しみの一つです。

春の火災予防運動に合わせて防火啓発

3月20日～26日　珠洲消防署・市消防団・女性消防団

正院保育所で火災予防指導

啓発活動の一環として市内保育所で火災予防指導を実施。正院保育所では女性消防団員が寸劇を交え、火災時の避難の仕方について指導しました。

ひとり暮らし高齢者宅で防火診断

飯田地区で実施。「消火器や住宅用火災警報器の有無」「調理器具や暖房器具の使用状況」などを聞き取り、火災発生の危険がないか調査しました。住宅火災による死者の6割以上が65歳以上の高齢者です。住宅用火災警報器を未設置の場合、早急に設置をお願いします。

火災防御訓練を実施

グループホームとうほうの里で、火災を想定した防御訓練を実施。同施設では、災害時に付近住民と災害時の相互応援協定を結んでいることもあり、多くの住民が参加して避難体制を確認しました。

ザック in ジャパン！

珠洲市国際交流員　ザカリ・ウィットニーさんのお話⑥

今年の冬は珠洲市かったですね！　はは…。

「珠洲市」という所に行くことが分かった時から、この「珠洲市いい」冗談を何度も聞いたり言ったりしました。私は冗談がとても好きなので、よく言います。しかし、通じないことが多くて、日本語と英語の冗談がやっぱり違うということを実感しました。

日本語と英語の冗談を比べたとき、最も分かりやすく大きな違いは、「サーカズム」ではないでしょうか。「サーカズム」とは、冗談として正反対のこと、普通ではないことを言うことです。例えば、とても汚い部屋に入った時に、「わー、きれい！」と言うようなこと。日本でこのような冗談を言うと、「とても皮肉で嫌みなこと」と捉えられがちです。でも、これがアメリカでは、とてもユーモアのある冗談として捉えられるのです。

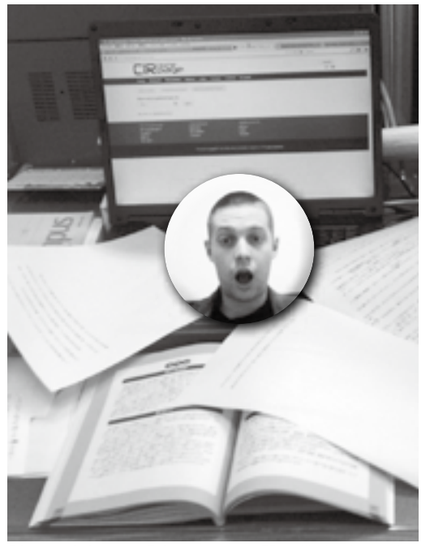
もう一つ挙げると、私は学生時代、「髪を切った？」という質問に対して、「はい」と普通に答えるのが何となく嫌だったので、「いいえ。昨日寝ている間に勝手に縮んだんだよ！　びっくりした！」とよく答えていました。もちろん、日本でもこのような冗談を言ったのですが、ほとんど理解してもらえませんでした。

また、「面白くないことを面白く笑う」冗談もアメリカで人気があります。相手が面白い冗談を期待しているのに、面白くないことや無意味なこと、ばかげていることを言って、その期待を壊すことを逆に面白く笑おうというものです。日本の「シュールな笑い」に似ているでしょうか。

私の父がよく言った冗談が、良い例になると思います。これには質問と答えがありますが、質問に文脈がありません。「What's the difference between a duck?(アヒルとの違いは何ですか?)」というもの。答えは「One of its feet are both the same!(1本の脚が両方同じです!)」です。

分かりにくいでしょう？　あまり面白くもないでしょう？　でも、この冗談の面白いところは、冗談そのものではなく、聞き手の反応にあるのです。相手の反応が面白いと、冗談が通じなくても頑張るかいがあると思います。その後で説明するのも、良い異文化交流になるのではないでしょうか。

私は日本の冗談をあまり知らないので、みなさん面白い冗談を知っていたら、ぜひ教えてくださいね。


「わー、きれい！」「昨日寝ている間に勝手に縮んだんだよ！　びっくりした！」。みなさんもこれで「サーカズム」を習得しましたね！

BOOK 今月の新刊

一般向け

春風伝
葉室　麟（新潮社）

日本の未来を正確に見据え、奇策で内外の敵を圧倒した高杉晋作。短く激しい生涯を鮮やかに描く。

マタニティ・グレイ／石田衣良
ハピネス／桐野夏生
晩夏／今野　敏
やがて、警官は微睡（ねむ）る／日明　恩
執着／堂場瞬一
ドンナビアンカ／誉田哲也
毎日おいしく食べる！ 胃を切った人のための食事／比企直樹
薬草の科学／佐竹元吉

ほか多数

児童向け

まんげつのはなし
住井すゑ（復刊ドットコム）

「この世に２つとない珍しいもの」を召し使いに探させ、「まんげつ」という弓を手に入れます。

おなべふこどもしんりょうじょ／やぎゅうげんいちろう
じゃんけんのすきな女の子／松岡享子
しょんぼりしないで、ねずみくん！／ジェド・ヘンリー
体育館の日曜日／村上しいこ
ともだちをさがそう、ムーミントロール／トーベ&ラルス・ヤンソン
ねことテルと王女さま／クライド・ロバート・ブラ
ふかいあな／キャンデス・フレミング
め牛のママ・ムー／ユイヤ・ビースランデル

ほか多数

●携帯電話から本の検索・予約ができます。予約は図書館での事前登録が必要です。
http://lib.city.suzu.ishikawa.jp/mobile/freeken.asp

中央図書館　☎（８２）０３９９　FAX（８２）０６７５
■**開館時間**　平日　９時～18時
土・日曜日　９時～17時
■**閉館日**　毎週月曜日・祝日・年末年始
http://www.city.suzu.ishikawa.jp/home/tosyokan/

遊々能登 EnjoyNoto

奥能登イベント情報

珠洲市からの交換記事として、「奥のとトロッコ鉄道」を３市町に紹介しました。

輪島市　住吉神社・重蔵神社

●曳山祭
４月５日（金）・６日（土）

豪華に飾られた総輪島塗の山車が春を告げます。５日は住吉神社、６日は重蔵神社の巡行で、子どもたちが参加する午後からが見ものです。

能登町　柳田星の観察館「満天星」

●「満天星」20 周年記念イベント
４月14日（日）11時～

県内の天文情報の発信地「満天星」が 20 周年記念イベントを実施します。記念式典・プラネタリウム投影 11 時～、講演会 13 時 30 分～、コンサート 17 時～。いずれも料金は無料です。

穴水町　のと鉄道「能登鹿島駅」

●花見だよ！ in 能登さくら駅
４月21日（日）10時～15時

桜咲き誇る能登さくら駅で、太鼓や歌謡ショーをお楽しみください。なお、周辺には駐車場がありません。のと鉄道をご利用ください。

4 April 今月のお知らせ

能登有料道路の通行券払い戻しは4月から

能登有料道路の無料化に合わせて、回数券・みちカード・割引通行券の払戻窓口を市役所1階市民課に開設します。窓口での本人確認後に書類申請をしていただき、その場で払い戻します。

▽**開設期間**　4月1日(月)～6月28日(金)
▽**時間**　8時30分～18時30分(土・日曜日、祝日を除く)
▽**申請に必要な物**　運転免許証や健康保険証などの本人確認ができるもの

購入場所を問わず払い戻します。割引通行券は、全区間が未使用のものに限り払い戻します(同じ通し番号の組み合わせのもの、領収書がないものも払い戻します)。

詳しくは左記まで。

■**市民課市民サービス係**　☎(82)7731

養育医療申請は健康増進センターへ

これまで石川県が申請窓口となっていた「養育医療」。4月からは、珠洲市では健康増進センターが窓口となります。

養育医療とは、身体の発育が未熟のまま出生した乳児の治療費を公費で負担する制度(世帯の所得に応じて一部自己負担になります)。医師が入院養育を必要と認めた乳児は、指定医療機関で治療を受けることができます。

制度の利用には事前申請が必要です。詳しくは左記まで。

■**健康増進センター**　☎(82)7742

後期高齢者医療保険料をお知らせします

口座振替や納付書で保険料を納めている人や、4月または6月から特別徴収(年金天引き)による納付が始まる人に対して、4月中旬頃に平成25年度の暫定保険料額決定通知書を送付します。

保険料は前年度の保険料額を元に計算した見込み保険料額をお知らせします。

平成25年度の確定保険料額は、7月中旬頃にお知らせします。

■**市民課医療保険・年金係**　☎(82)7744

能登丼 新規参加店募集！

「能登丼」の新たな参加店を募集します。能登丼の定義を守り、提供できる店舗を対象とします。

■**申込締切**　4月12日(金)必着
■**参加要件**　●提供店が奥能登4市町にある　●提供店が飲食店等の営業の許可(食品衛生法第52条)を受けている　●「能登丼事業協同組合」に加入し、出資金および会費を納める(金額などは下記まで)　●「おもてなし」の心を大切にし、何よりもお客様に喜んでもらうことを最優先に日々努力する　●提供店を明示するブランドマーク(のぼり旗)を店頭掲示する　●以上の要件を1つでも満たさないと判断される行為などがあった場合、組合が認定を取り消すことに同意する
■**提供期間**　平成25年7月1日～26年6月30日

季節限定提供の場合も下記への申し込みが必要です。詳しくは下記まで。

■**能登丼事業協同組合(橋本さん・幸寿し)**　☎0768(52)2114
■**奥能登ウェルカムプロジェクト推進協議会事務局(石川県奥能登総合事務所企画振興課)**　☎0768(26)2303

今月の納期
軽自動車税
後期高齢者医療保険料　第1期
納期　4月30日(火)

珠洲焼基礎研修課程25年度研修生を募集

珠洲市陶芸センターでは、珠洲焼の陶工を育成するため、基礎研修課程を開設しています。珠洲焼作陶技術の全般的な基礎知識や技能を習得するカリキュラムを設けています。

▽**募集人数**　7人
▽**研修期間**　平成25年5月～27年3月
▽**受講料**　月額3,500円
▽**応募締切**　4月14日(日)

詳しくは左記まで。

■**珠洲市陶芸センター**　☎(82)3221

ご厚志ありがとうございます

2月20日～3月20日　(敬称略)

■**7万円(社会福祉費)**
山武七郎(馬緤町)
■**100万円(地域振興基金)**
笠原英二(東京都)
■**保育用品(小泊保育所)**
小泊保育所保護者会

平成25年度固定資産税縦覧・閲覧を行います

固定資産税の縦覧帳簿の縦覧

納税者は、自ら所有する以外の土地・家屋の評価額などが記載された「土地価格等縦覧帳簿」「家屋価格等縦覧帳簿」を見て、自分のものと比較ができます。

▽**期間**　4月1日(月)～5月31日(金)の毎日8時30分～17時(土・日曜日、祝日を除く)
▽**縦覧できる人**　市内に土地・家屋を有する納税者、代理人
▽**縦覧手数料**　無料

固定資産課税台帳の閲覧

固定資産税の納税義務者は、自ら所有する固定資産について、年間を通して、固定資産課税台帳(名寄帳)の閲覧により課税内容を確認できます。

▽**閲覧できる人**　所有者本人、所有者と同居する親族、借地・借家人(確認のため賃貸借契約などの書類が必要)、代理人
▽**閲覧手数料**　1件につき300円(4月～5月は無料・課税台帳のコピーは常に有料)

印鑑(認印)、本人確認ができるもの(運転免許証など)を持参し、市役所2階税務課へお越しください。代理人の場合は委任状が必要です。

詳しくは左記まで。

■**税務課課税係**　☎(82)7736

奥のとトロッコ鉄道 4月1日出発！

恋路海岸を眺めながら、恋路駅と宗玄トンネルを往復。自分の足でこいで進むトロッコの旅を楽しみませんか。

▽**乗車券**　大人500円、小学生以下300円

オーナー(年会費制)になると、乗り放題のほか、枕木への名前入りプレート設置など特典多数！

申し込みは左記まで。

■**のと鉄道遺産活用倶楽部(宗玄酒造)**　☎0800(8698)2559

珠洲チャレンジ大学 パソコン講座

「子どもにもらったが、使い方が分からない」「地域行事の案内チラシをパソコンで作ってみたい」。そんなみなさんのために、パソコン入門からワード文書の作成、最終的にはチラシ作りにチャレンジするパソコン講座を開催！　ノートパソコンをお持ちであれば、どなたでも参加できます。

■**日時**　4月15日(月)・22日(月)・24日(水)、5月1日(水)・8日(水)の全日9時30分～12時
■**場所**　市役所4階会議室
■**定員**　15人
■**持ち物**　ノートパソコン
■**参加費**　無料(テキスト代は自己負担)

申込みは下記まで。

■**教育委員会事務局生涯学習係**　☎(82)7826

脳ドック・人間ドック 4月1日から受付開始

国民健康保険加入者に、人間ドック・脳ドックの検査費用を助成します。

■**対象**　国民健康保険加入者(脳ドックは、脳関係の疾病で治療中の人を除く)
■**検査機関**　珠洲市総合病院
■**検査日**　●人間ドック　毎週月～金曜日　●脳ドック　毎週木曜日
■**自己負担額**　●人間ドック　4,500円(検査費45,000円)　●脳ドック　3,500円(検査費35,000円)　●人間ドック・脳ドック併用　6,700円(検査費67,000円)
■**市民課医療保険・年金係**　☎(82)7741
■**総合病院健診室**　☎(82)1181

受講生募集！ 手話奉仕員養成講座

講座では、手話通訳者の養成を目的に、「聴覚障がいへの理解」「手話の基本的な技術」を学習します。

▽**日時** ●前半　5月11日(土)〜6月29日(土)の期間中、土曜日の13時〜17時(全5回)　●後半　7月10日(水)〜10月16日(水)の期間中、水曜日の19時〜21時(全14回)

▽**場所** ●前半　奥能登行政センター(能登空港ターミナルビル内)　●後半　輪島市ふれあい健康センター

▽**受講料**　無料(ただし、テキスト代7、800円が必要)

▽**定員**　30人(定員に達し次第、締め切ります)

初心者を対象とした講座です。興味のある人は左記まで問い合わせください。申し込みも左記まで。

■**福祉課生活支援係**　☎(82)7748

聞こえに不安がある人の交流会を開催します

交流会では、手話学習やレクリエーション、情報交換などを行っています。身近な音や周りの人の声が聞こえにくいと感じている人、ボランティアに興味のある人はぜひ参加ください。

▽**日時**　毎月第2・4水曜日の13時30分〜15時30分

▽**場所**　すず市民交流センター

▽**参加費**　無料

詳しくは左記まで。

■**福祉課生活支援係**　☎(82)7748

現在、市が配布を進めている防災ラジオでも、「PM2.5」の注意喚起情報を受信できます。

「PM2.5」とは、大気中に漂う小さな粒のこと。大きさが2.5マイクロメートル(0.0025ミリメートル)以下の非常に小さな粒子を「微小粒子状物質(略称PM2.5)」と呼びます。粒径が髪の毛の太さの30分の1ほどの大きさで、肺の奥深くまで入りやすいのが特徴です。

市では、石川県の測定で高濃度が予測される日に、防災行政無線やケーブルテレビで注意喚起情報(1日限定)を発信します。注意喚起が出る濃度でも、全ての人に必ず健康への影響が出ることはありませんが、次のことに注意して行動するよう心がけてください。

●屋外での長時間の激しい運動や不要な外出を減らす
●窓の開閉や換気を減らす
●呼吸器系や循環器系の持病がある人や子ども、高齢者は体調の変化に注意して慎重に行動

■**生活環境課環境係**　☎(82)7743

高濃度時には注意喚起情報発信 PM2.5

日本語教室(前期)を開催

在住外国人のための日本語教室を珠洲市多目的ホール「ラポルトすず」、すず市民交流センターで開催します。近くに在住外国人がいる場合は声かけをお願いします。内容は、普段使う日常会話を中心に行います。

併せて、外国人に日本語を教えてみたい人を募集します。初心者でも、「自分の使っている日本語を会話などで教える交流」などの補助から始めることができます。知識がなくても大丈夫です(ただし、ボランティアとなります)。

ボランティア講師の申し込みは観光交流課まで。

日時・場所

5月12日(日)13:30〜15:00　ラポルトすず　アトリエ工房

5月26日(日)13:30〜15:00　ラポルトすず　アトリエ工房

6月9日(日)13:30〜15:00　すず市民交流センター　第5会議室

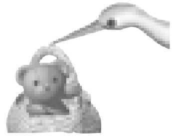
6月23日(日)13:30〜15:00　ラポルトすず　市民サロン

7月7日(日)13:30〜15:00　ラポルトすず　アトリエ工房

7月21日(日)13:30〜15:00　ラポルトすず　アトリエ工房

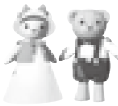
■**観光交流課交流促進係**
☎(82)7776

赤ちゃんがうまれました



(赤ちゃん)	(性別)	(両親)	(住所)
新出　せん	(女)	栄就・奈保	正院町
権元　佑吏	(男)	勇誠・誠子	三崎町

ほか1人

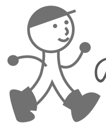


すえながくおしあわせに！

堂ケ平　智	(東山中町)	♥	加納　聖子	(金沢市)
稲川健太郎	(蛸島町)	♥	稲本　雅子	(羽咋市)

ほか5組

(2月19日〜3月20日届出分・敬称略)



人の動き(2月28日現在)

		前月比
世帯数	6,493世帯	(−　3)
人口	16,567人	(−　29)
男性	7,655人	(−　9)
女性	8,912人	(−　20)

2月の動き

転入	13人
転出	21人
出生	4人
死亡	25人

(住民基本台帳人口)

編集後記

機械が表示する文字「書体(フォント)」。機械的という言葉があるように、書き手の思いが伝わりやすい手書き文字と違って、画一的な印象を与える。だが、時を注ぎ、思いを込めて洗練した文字の塊「文章」からは、痛いほど伝わってくる何かがある。機械文字にも「言霊」は宿ると信じ、「伝える」に携わらせていただける思いを表したい。　(総務課　河崎完)

自然とあそび なかまをつくろう！

ボーイスカウト募集

スカウトを随時募集中！　毎月、ハイキングやキャンプなどを中心に、野外活動を行っています。体験入隊も可能。興味のある人は下記まで連絡ください。

●**カブ隊**　小学2〜5年生
●**ボーイ隊**　小学6年生〜中学3年生
●**ベンチャー隊**　高校1〜3年生

君も、山へ！　川へ！　海へ！　飛び出そう

■**ボーイスカウト珠洲第1団(珠洲市教育委員会事務局内)**
☎(82)7826
FAX(82)6630

4月からのドクターです

院長	追分久憲
副院長	桝田　耕
副院長(兼)地域医療対策室長(兼)医局長	浜田秀剛
内科医長	寺本了太
内科医長	清水雄三(新)
内科医長	吉田太治(新)
内科医師	西岡　亮(新)
内科医長(嘱託)	佐々木　誠
内科医長(嘱託)	波佐谷兼綱
外科医長	坂本浩也
外科医長	廣瀬淳史(新)
外科医師	野村皓三(新)
小児科医長	小幡美智
産婦人科医長	山城　玄
整形外科医長	伊藤貴明
整形外科医長	中西　章

■**珠洲市総合病院**　☎(82)1181

世界に誇る 珠洲の里山里海

9

里山里海から珠洲を振り返る

3月10日に鉢ヶ崎で行ったクロマツの植林。詳しくは34～35ページに掲載されるそうです。

みなさんこんにちは。赤石大輔です。今年度も珠洲市の自然共生研究員として活動させていただくことになりました。4月からもここで、「珠洲の里山里海でのさまざまな活動」を紹介していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私が珠洲へ来て7回目の春を迎えました。毎年美しい自然の中で春を感じていると、珠洲の里山里海がどのくらい変化していくのか分からなくなりますね。そこで生物多様性を中心に、ここ数年の珠洲や世の中の動きを振り返ってみたいと思います。

平成19年3月には能登半島地震がありました。珠洲でも家屋やため池の堤（水をせき止めるもの）などに被害が出ました。同じ年には中越沖地震もありました。

そして、平成23年には東日本大震災と原発事故により、東北地方の農村が大きな被害を受けました。この6年間で震度6以上の地震が15回も発生していて、本当に地震の多い国だと実感しました。災害に強い国をつくるためには、一極集中をやめ、それぞれの地域が持続可能な形で生活基盤を整えていく必要があることを、みなさんも感じられたのではないかと思います。

平成22年には名古屋で生物多様性の国際会議が開かれ、2020年（平成32年）までに何とか生物多様性の減少を食い止め、持続可能社会を目指そうと宣言されました。この年には、ワシントン条約でクロマグロの取引規制が議論されました。珠洲でもマグロの蓄養が試みられましたが、予想より難しかったようです。

平成24年度にはウナギが絶滅危惧種に指定されるなど、私たちの身近な食材の確保がどんどん難しくなってきています。

平成23年には世界農業遺産に能登の里山里海が認定され、「能登」が脚光を浴びた年でした。認定を受けた23年度に、市は地域連携保全活動計画を策定しています。3年目の今年はいよいよ完成に向けてまとめ作業を行っていきます。この計画作りについて、先月、3月3日にシンポジウムを開催し、計画の骨子を地域のみなさんに紹介しました。

活動計画には4つの重要項目を掲げています。ここで簡単に紹介します。

①ゲンゴロウなど希少な水生生物を保全し、地域に環境配慮型の農業を広める

②アカマツやコナラなどの里山林をさまざまな主体が連携して維持管理する

③アメリカザリガニなど外来生物への対策と地域への理解を深める

④被害が広がっているイノシシの被害を抑え、地域の農業を守る

この4つです。地域の里山里海を活用し、地域活性化につなげていく「とてもチャレンジングな（やりがいのある）計画」です。

私が珠洲へ来た平成18年の珠洲の人口は18、915人でしたが、今年2月では16、567人となっています。毎年400人ほど減少し、里山の担い手である農業者も確実に減ってきています。

一方で、金沢大学の里山マイスター養成プログラムなどに合わせて、わずかですが若い人たちが珠洲へ移住し、活躍されています。数年後に珠洲を振り返った時、「里山里海を守るこの計画作りが大きな転機だった」と言えるように、良い計画を作っていきたいと思います。

●赤石大輔（あかいし・だいすけ）
能登半島里山里海自然学校研究員、NPO法人能登半島おらっちゃの里山里海研究員として、珠洲を中心に「能登の里山里海」の保全に携わる。現在は、珠洲市自然共生研究員として活動。

珠洲市里山里海応援基金 事業費補助金

珠洲の里山里海の保全継承や利活用に取り組むみなさんを支援します。

■**対象者**　珠洲市に住所を有する個人、または事務所などを有する法人

■**対象事業・補助額**

●市内での世界農業遺産の利活用に関する事業　対象経費の3分の2以内の額（限度額50万円）

●市内の里山里海環境などの保全継承のための活動に関する事業　対象経費の10分の10以内の額（限度額50万円）

■**対象経費**

●里山里海の資源を利活用した地域振興につながる新たな仕事の創出およびブランドづくりに必要な経費

●農林水産物などの1次産品の高付加価値化に必要な経費

●交流人口の拡大に向けた体験メニューおよびプログラムの開発に必要な経費

●世界農業遺産の利活用のため、専門家や珠洲市などと行う調査・検討に必要な経費

●ガイドブックなどの作成、情報発信、営業活動に必要な経費

補助金交付は、同一対象者につき1回限りとします。

問い合わせ
■自然共生室自然共生係
☎(82)7716

SUZU eco 環境保全活動でエコポイントをゲット！ 珠洲市独自の「自然共生ポイント」

「珠洲市自然共生ポイント制度」は、自然と共生する珠洲市の構築に向け、市民のみなさんに、環境保全活動へどんどん参加していただくための独自のエコポイント制度。集めたポイントは、市内の協力店で環境に優しい商品や珠洲市共通商品券などと交換できます。

左表には、ポイント交付対象となる活動と交付ポイント数を記載しています。

★マークのあるものは、環境保全活動を実施する集落などの地域団体や学校、企業、NPOなどで取り組むものが対象。その際のポイントの受け取りは、「申請団体」か「参加者個人」のどちらかを選択することができます。

ポイント交付には活動実施【前】に市への申請、活動実施後に実績報告が必要です。ご注意ください。必要書類は市役所4階自然共生室に備えているほか、市のホームページからもダウンロードできます。

廃食用油の回収	
廃食用油1リットルに対し、50ポイント	
● BDF（※）の購入	
購入10リットルに対し、50ポイント	
省エネ設備（住宅用LED電球など）への取り換え	
5,000円以上の購入に対し、50ポイント（1世帯につき1回限り）	
★海岸清掃活動	
参加1回に対し、1人につき50ポイント	
★河川清掃活動	
参加1回に対し、1人につき50ポイント	
★道路清掃活動	
参加1回に対し、1人につき50ポイント	
地域イベントでのマイバッグ持参・利用	
参加1回に対し、1人につき50ポイント	
地域活動での生ごみの分別収集	
参加1回に対し、1人につき50ポイント	
★植林・間伐・除伐など森林保全活動への参加	
参加1回に対し、1人につき100ポイント	
●環境家計簿への参加	
参加1回に対し、1世帯につき100ポイント	

●は現在、取り組み開始に向けて準備中の項目です。
※BDFとは…廃食用油や菜種油など植物油からできる燃料。軽油の代わりとなり、自動車や重機などのディーゼル車に利用される。バイオディーゼル燃料の略称。

①

①子どもから大人まで約80人が参加。
②参加したみなさんで記念撮影。
③鉢ヶ崎ケビンの付近に植えられたクロマツ。
④蛸島町のキリコ祭りで、キリコに飾られる男松。

②

③

④

自然と共生する地域に
鉢ヶ崎でクロマツ植林

3月10日、蛸島町の鉢ヶ崎でクロマツの植林が行われました。参加したのは区長さん、NPO法人能登半島おらっちゃの里山里海、蛸島青年団、蛸島小学校のみなさんをはじめとする約80人。市外から駆け付けた高坂・根上町みどりを守る会(能美市)のみなさんが、植林技術を指導し、300本余りを植えました。

地域の多くの人が関わる「キリコ祭り」で、ほとんどのキリコに飾られる笹や松などの植物。蛸島町では、「男松」と呼ばれるクロマツを2本飾るのがしきたりとなっています。

しかし、その供給源となってきた鉢ヶ崎のクロマツ林は年々枯れ、近年はほかの地域を探したり、代用したりすることが多くなっています。

発案者の木挽芳紀さんは、「植えるだけで終わりではない。活動を続けていく上で地域の人が興味を持ち、どんどん参加してくれれば」。協力した上野正寛さんは、「青年団の活動では、地域貢献が一番大事。蛸島青年団は立ち上がって間もないので、これをきっかけに地域のみなさんと交流していきたい」と意気込みを話しました。

今後はキリコ用のクロマツを育てながら、防風林としての役割を果たす森づくりとしての整備を進めていく予定。地域の伝統文化と里山里海の保全の両立に必要なベテラン世代の知識・経験に、若い世代の力が加わり、珠洲の伝統と里山里海は引き継がれていきます。

蛸島青年団団長
上野正寛さん

蛸島小PTA会長
木挽芳紀さん

NPO法人能登半島おらっちゃの里山里海の賛助会員でもある木挽さんが、上野さんに「蛸島青年団にも加わってほしい」と声をかけた。「青年団としても、ぜひ携わりたい」と上野さんが快諾したことで、今回の植林が実現。

蛸島小6年
稲谷　陸くん

「お祭りでキリコに飾ることは少しだけ知っていました。でも、今日の植林前まで、クロマツが減っていることは知らなかったので、協力できて良かったと思います」

インドネシアからの漁業研修生も参加。お世話になっている蛸島のために汗を流した。